



★コミュニティ・スクール通信★第2号★

★令和8年1月発行★



★はじめに★

今回のコミュニティ・スクール第2号では、コミュニティ・スクールや学校運営協議会の仕組みや役割をご紹介します。この機会に改めてご理解いただければ幸いです。

コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。

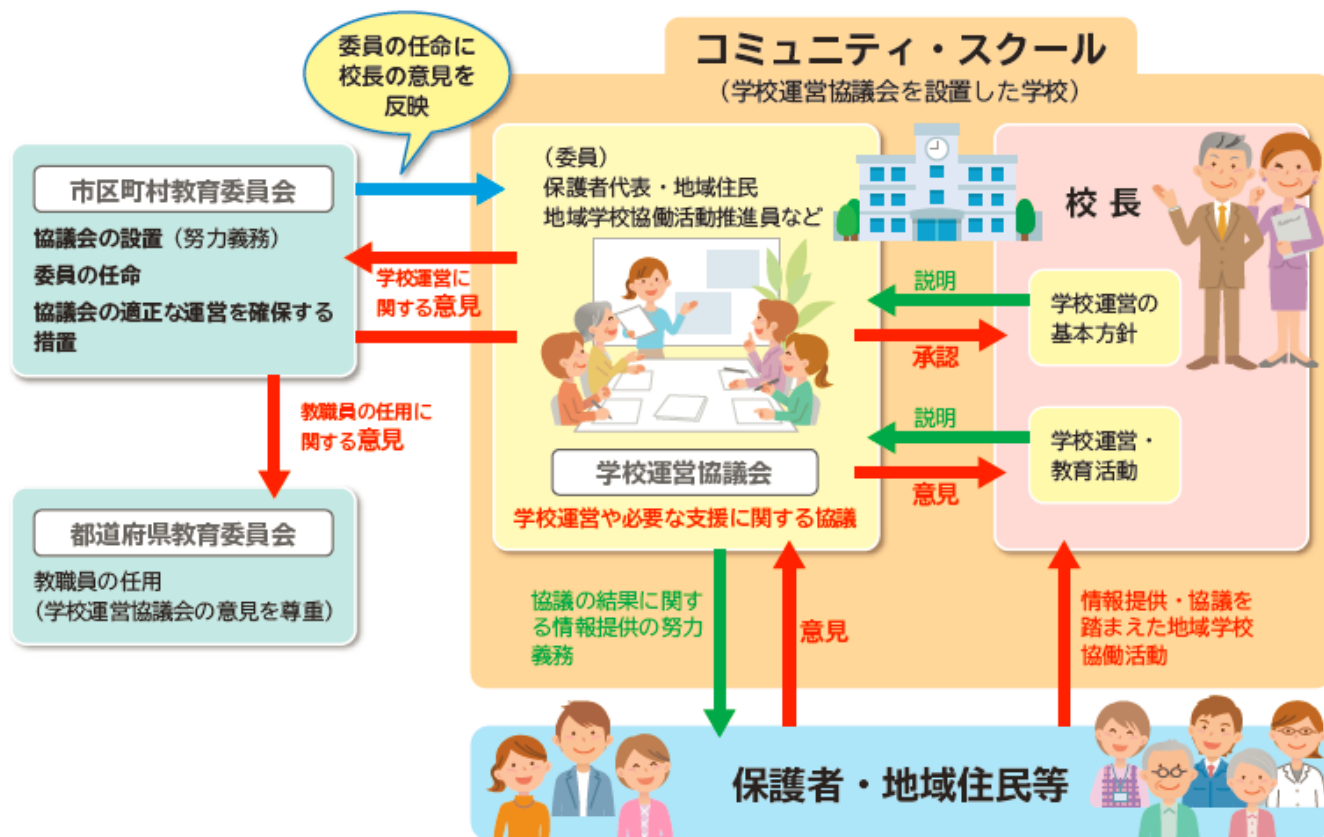
保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することで、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組みのある学校です。上尾市では、市内全校がコミュニティ・スクールとなって7年目を迎えています。

学校運営協議会の役割って何？

学校運営協議会には、主な役割が3つあります。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

【コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)の仕組み】



上の図のように、「コミュニティ・スクール」や「学校運営協議会の役割」について文部科学省が整理しています。コミュニティ・スクールは、保護者・地域住民等から意見や情報提供・協議を踏まえた地域学校協働活動を受けて、よりよい学校運営・教育活動となるように努める仕組みとなっています。これは、一年間で完結するものではなく、持続可能な視点から PDCA サイクルをもとに常にブラッシュアップが図られています。

【実際の市内学校での学校運営協議会の様子】



第1回学校運営協議会の様子です。第1回は、学校運営協議会委員の任命書の手交があった後、校長先生から学校経営方針の説明や学校運営協議会の取組について委員全員での確認をしたそうです。



第3回学校運営協議会の様子です。自校の子供たちの学力の実態の把握と対応の検討、継続的な取組について話をしたそうです。また、教職員と保護者・地域とのつながりや家庭学習の取組方について話し合ったそうです。



第4回学校運営協議会の様子です。教室訪問や行事の精選、アクションプランの今後の進め方などについて話し合ったそうです。また、自校で課題であると捉えている自己肯定感を高めるための手立てについて議論をしたそうです。子どもの自己肯定感を高めることは家庭・地域の協力が無いといけなことで、まずは「あいさつ」から家庭・地域が始めることが必要ではないかと結論に至ったそうです。今後は、自治会長等にその話をする等対応を考えていくそうです。

学校運営協議会の取組

学校運営協議会では、学校の課題解決のために、様々な取組をしております。今月からは、毎学期の期末テスト前に実施している自学自習の機会（通称：レインボー・アワー）を原則水曜日に実施する取組を始めました。基本的に学校運営協議会委員が生徒の自学自習を見守ることをします。今後は保護者の方等にも協力してもらいながら、進めていこうと考えております。詳細は、学校HPの「学校運営協議会」のページを御覧ください。



10/22のレインボー・アワーの様子↑

学校だよりの文面です。学校運営協議会で協議されたアクションプランについて、実際に学校運営協議会委員が中心となって推進を図っているそうです。今後は、保護者にも協力を呼びかけていくそうです。



今後も本通信の発行を通して、コミュニティ・スクールに係る情報発信を行ってまいります。各校の具体的な取組については、各校のホームページをご覧ください。

★各上尾市立小・中学校ホームページ コミュニティ・スクール、学校運営協議会バナーへのリンク★

<https://www.city.ageo.lg.jp/page/0743202102021.html>



— 夢を育み 未来を創る 上尾の教育 —

上尾市教育委員会

担当 指導課 【電話】048-775-9672

